

〔今月の詩編〕

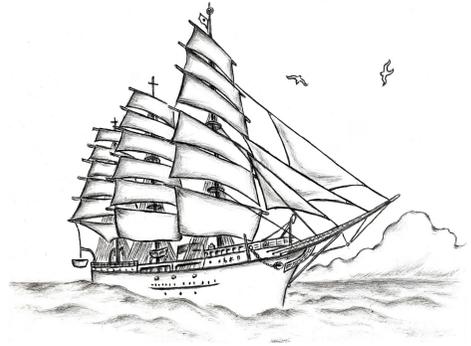
## 第36篇

あなたを知る人の上に

慈しみが常にありますように。

心のまっすぐな人の上に

恵みの御業が常にありますように。



## 私の隣人とは

主イエスを試すために一人の律法の専門家が立ち上がり、「先生、何をしたら永遠の命を受け継ぐことができますか」と聞きました。更に難問をぶつけて自分の知識を誇りたかったのでしょうか、「私の隣人とは誰ですか」とも聞きました。

主はお答えになりました。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、強盗に襲われた。強盗はその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を歩いて行った。レビ人もその場所にやって来たが、同じく道の向こう側を歩いて行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人はその人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。翌日には銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもつとかかったら、帰りがけに払います』」と。

主イエスが地上に来られたこの時代、サマリア人とユダヤ人との間には非常に大きな敵意がありました。ユダヤ人たちにサマリア人は憎むべき「敵」でした。すなわち「隣人」に定められない人たちでした。

ところが、主のこのたとえ話では、最も聖なる者と思われていた祭司やレビ人が登場して、同じユダヤ人である兄弟を助けなかったのです。その後、最も汚れた者、罪人、神から遠い者、呪われた者とされたサマリア人が登場して、兄弟を手当し、自分のように愛する話です。

主は「誰が強盗に遭った人の隣人なのか」と聞かれましたが、律法の専門家は素直に「そのサマリア人です」とは答えません。「サマリア人です」と口にした時点で、「私の隣人とはサマリア人です」と答えてしまうことになるのです。ユダヤ人の間でそれを公に言うことには強い抵抗があったのでしょうか。

「私の隣人とは誰ですか」と聞いた律法の専門家に、人を愛する側ではなく、「愛される側」、半殺しにされ、助けをいただき、命救われたところに置いて、その人の隣人とは誰ですかとお聞きになりました。しかも、ユダヤ人が敵と定め、敵を憎めと

も教えていた対象であるサマリア人から命を助けられた話です。サマリア人こそ自分を遠ざけていくべき人。自分が散々見下してきたもの、会話もしたくない、相手にもしたくない汚れた者です。その者が死んでいく「自分」を隣人してくれて、自分のように愛してくれて、命が助かった話です。

人は「私の隣人とは誰ですか」と聞くことはありませんが、しかし、常に人は自分が愛したい人、愛したくない人と、既に心の中で、自分の隣人を定めているのではないのでしょうか。人はそれぞれ愛する自分の隣人の範囲を、無意識に決めているのです。そう決めている時点で、それは「この人は愛する隣人に入れてあげる。この人は入れてあげない」ということなのです。人の愛は根本的に出発点から、どこか偉く、高いところから出ているのではないのでしょうか。

律法の専門家に「強盗に遭った人の隣人とは誰ですか」と問われた主。私たちにも問いかけられているのではないのでしょうか。「あなたの隣人とは誰ですか」と。そして、人を助けたよいサマリア人がそれを教えています。「助けられた身」から見るとその答えが見えると。

よいサマリア人は、わが主イエス・キリストのお姿を指し示しています。私たちはかつて神を知らず、神に敵対し、世の汚れと罪の中を歩む者でした。主イエス、罪のないこの方は、罪人の代わりに死に引き渡されたのです。私の代わりにご自身を惜しみなくさげられ、愛を示してくださいました。

よいサマリア人は教えています。強盗に遭った人の隣人とは誰なのか。助けられた者として隣人を見るように。へりくだった立場から見ると、と。しかし、我が主イエスは、へりくだったところから見るとということではなく、実際、助けられた者の心へとへりくだらせる方、へりくだらせた方ではないのでしょうか。この方の十字架を福音として生きている私たちに、隣人とは誰でしょうか。

十字架の主は私たちに語られます。「行って、あなたも同じようにしなさい」と。

## 子ども礼拝 (9時20分より・地下ホール)

説教 「最後の災い」

聖書 出エジプト11章1～8節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

## 夏季礼拝 (10時30分より)

司式 山下 純一 兄

聖餐司式 黄 允湜 牧師

○前奏 オラトリオ「エリア」より

「主に自らを委ねよ」 F.メンデルスゾーン

○讃美 79番

○十戒

○告白の祈り

○奉献頌

○使徒信条

○牧会の祈り

○主の祈り

○聖書朗読 使徒5章27～42節 (新約 P.222)

○説教 「神に従わなくてはなりません」

宮間 彰広 兄

○讃美 276番

○聖餐 ソナタ第4番ホ短調「第2楽章」

「アンダンテ」 J.S.バッハ

○報告

○頌栄

○派遣の言葉

○祝福

○後奏 「光とやみとの」 H.ウイッ

## 《 今日のお知らせ 》

○礼拝の中で、楠 日高 兄と楠 春香 姉の次女 志乃さんの祝福式を行います。

## 《 ぶどうの会より 》

礼拝後、第2・3シオンルームで行います。

## 《 ディアコニアショップより 》

25日礼拝前と礼拝後にハチミツ、レモンの販売を行います。皆さま、ご家庭でレモネードなど作ってお楽しみくださいませ。

## 《 次週の礼拝 》

### 子ども礼拝 (午前9時20分・地下ホール)

説教 「主があなたがたのために」

聖書 出エジプト14章5～14節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

### 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 22番 495番

説教 「わたしの友とは」

聖書 ヨハネ15章1～17節

説教者 黄 允湜 牧師